



熱く 温かく

裾野市立東中学校だより 令和6年12月24日(火)

〈校 訓〉 自主 ~誠実・清純・勤勉 ~
〈学校教育目標〉 未来に向かって 自分らしく 生きる人
〈キーワード〉 考える 対話する 多様性を認める

Merry Christmas & A Happy New Year!

12月25日(水)から、来年1月6日(月)までの冬季休業に入ります。願うことは毎回同じです。楽しい冬休みを過ごし、事件・事故に巻き込まれず、元気な、晴れやかな表情で新年・3学期を迎えてほしいということです。

11月1日(金)から、第4ステージがスタートし、82日間の2学期が終業しました。3学期は49日間です。文字通り「あっ」と言う間に過ぎてしまいます。新年・3学期を充実させるためにも、充実した冬休みを過ごしてほしいと思います。

11月6日(水)に全校集会が行われ、後期学習文化委員長から、「テストや学習の進め方」の話がありました。約2か月前の話題ですが今後につながるお話ですので下に紹介します。



学問ノススメ～学習文化委員長の話～

＜委員長の話抜粋＞

*学年末も、おそらくですけど、ほとんどの教科がほぼほぼ全範囲を出してくるでしょう。そうなれば、もう忘れかけている部分をもう一度思い出して勉強する必要があります。

*すでに中3の方々も、もう入試や学調に向けて勉強しているはずですが、でも、私たち1,2年生は範囲が長いとはいえ、まだ中3の内容は入っていません。第3回の実力テストが終わったあたりから、少しだけでも、苦手な単元だけでも復習してもいいんじゃないかと思っています。

「思い出して勉強」はフィードバック勉強につながります。テスト前に慌ててまとめてする勉強では定着しません。普段から、繰り返し勉強することが大切であることは誰もが知っていることです。スポーツに例えれば簡単です。試合前に慌てて練習しても良い結果は得られません。普段から地道に練習を繰り返してこそ良い結果が得られることは多くの人が体験しているはずです。

普段が大切

受験を迎えますと、高校の先生方が来校し、中学生の様子を聞きに来ます。そこで最近強く聴く言葉があります。「普段が大切」です。そのことに加えて話題になることが、「伸びる生徒・選手は、普段の生活をしっかりと送っている」「(自分の取り組んでいること)〇〇だけでなく、他の事にもしっかりと取り組む生徒・選手は伸びる」「苦手な勉強にもしっかりと取り組む生徒・選手は伸びる」ということです。

上の勉強の話に通じますが、3年生にとっては受験にしっかりと向き合えるか、1,2年生にとっては進級するために、苦手な分野に向き合えるか、それらのことは目の前のテストの点を取るということよりも、もっと大きな進路に直結しています。大げさではありません。生き方にも直結しているのではないのでしょうか。

「主体性」も大切ですが、「乗り越える力」「粘り強さ」も今の世の中求められています。高校の先生方とのお話で強く感じます。

苦しいことを乗り越える

3年生が、受験に向けて昼休みに勉強会を始めました。学年委員会が企画したのですが、多くの生徒が一生懸命勉強しています。「受験は団体戦」と言われることがありますが、学年全体で勉強する雰囲気をつくっていることは、とても良いことだと思います。少なくとも、(休み時間など)必死になって勉強している生徒もいるはずです。そう



進路に向かって～3年生屋の学習会～

でなくてもほとんどの生徒が受験に真剣に臨んでいます。集中して学習する雰囲気はつくりたいものです。仲間のためにも。

楽をして良い結果を求めたいという気持ちは、誰にでもあると思います。しかし、世の中甘くないことも誰もが感じていることだと思います。受験は苦しいものです。この時期、その不安や不満から落ち着きのなくなる3年生が出現することは珍しいことではありません。そのような中、3年生は苦しいことから逃げずに立ち向かい始めました。はっきり言いましてうれしい限りです。この頑張りは、受験にだけでなく、これからの未来に大きく影響すると信じています。最近、スポーツ関係の高校の先生方とお話する機会が多いのですが、共通する話題は、その競技だけ頑張っている選手より、勉強やその他のことにしっかりと向き合っている選手の方が伸びる、ということです。このことは、遠い昔から言われているところです。今をときめく大谷翔平選手などのトップアスリートは、目標に向かって、その競技だけでなく様々なことにしっかりと向き合っていることは、今や常識です。自分勝手な選手は見当たらず、他者への配慮や人柄もすばらしいと思います。サッカー界で言えば久保建英選手などは、守備にしっかりと向き合うことにより、監督の信頼を勝ち取り今やビッグ・プレーヤーです。きっと彼らも苦しいことから逃げずに乗り越えてきたのだとたやすく想像できます。

向田小ランニング・フェスティバル

11月30日(土)、向田小児童と地域の方々が、タスキをつなぎながら向田小学区をさわやかに駆け抜けました。東中生もランナーやボランティアでフェスティバルの成功に一役買いました。「向田小のためなら」と、意欲的に参加したランナーや陰ながら運営に携わった生徒など中学生の地域での活躍を見て、これからも地域を支える人材として大きく温かく成長してほしいと思います。



地域のために！～向田小ランニング・フェスティバル～

今回のフェスティバルは、向田小児童の「やってみたい！」から企画・運営されたそうです。東小学校では、始業式などの行事の司会を児童が担っているそうです。東中生が主体的であることは、小学校から受け継がれていることがよく分かりました。これからも主体的に地域のマンパワーとして活躍する人に育ててほしいと願います。

みんなで 語って Me Time♪

12月3日(火)、本校図書室で、「より良い東中にするために」「より良い東地区にするために」等、生徒と保護者や地域の方々が対話する「みんなで 語って Me Time♪」を開催しました。終始和やかな雰囲気では進みました。下に感想を紹介します。



東中・東地区の未来～生徒・保護者・地域の方々と～

<生徒の声>

・新しい考え方で地域を盛り上げていくことについて語り合えて楽しかったです。また、自分のグループでは、畑をつくるや新たな部活をつくるなどの実際にやってみたいこともあったため、またこの話し合いに参加したいと思います。

<地域の方の声>

・中学生と直に話ができて楽しかったです。意外と？自分の意見を積極的に話してくれて嬉しかった。地域と繋がっている中学生になっていただけそうで期待がふくらみました。大人と一緒に楽しくやりましょう。

これからも魅力ある学校づくりに邁進していきたいと思っています。そのためにも保護者の皆様・地域の皆様との対話を今後も続けていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。